

2013年6月

関係者各位

日本天文愛好者連絡会（JAAA） 藤由嘉昭
仙台天文同好会、ひが企画 比嘉義裕

「天文愛好者ミーティング 2013 年度全国会議・総会」
第3回 仙台大会のお知らせ（最終案内）

天文愛好者（日本国内外の団体および個人の、天文アマチュア、天文研究者、天文業界関係者）が集い、天文への興味関心や探究を深め、交流を図ることを目的とした「天文愛好者ミーティング 2013 年度全国会議・総会」を、2013年6月に、宮城県仙台市にて開催いたします。

本会議は、2009年「世界天文年」にそなえ世界天文年2009日本委員会が主催運営した全国アマチュア天文家のネットワーク「天文同好会サミット」を引き継ぐものです。

現在は、日本天文愛好者連絡会（JAAA）が運営しており、全国会議・総会は、2011年度から数えて3回目になります。

全国の天文愛好者と交流を深める貴重な機会です。みなさまのご参加を、お待ち申し上げます。

記

- 【日時】2013年6月29日（土）13時00分～6月30日（日）14時45分
【場所】東北大学片平キャンパス『さくらホール』、仙台市天文台（ともに宮城県仙台市）
【主催】日本天文愛好者連絡会（JAAA）
【共催】仙台天文同好会、東北大学大学院理学研究科、仙台市天文台
【費用】2,000円（会場費、資料作成費など） **※学生割引、参加日数割引あります。**

【タイムテーブル】

- 第1日目 6月29日（土） 東北大学片平キャンパス『さくらホール』 2階会議室
12:00 受付開始
13:00 開会
オープニング講演 市川 隆氏（東北大学大学院理学研究科天文学専攻長）
参加者からの発表
17:00 特別招待講演その1 縣 秀彦氏（国立天文台天文情報センター普及室長）
18:30 懇親会 東北大学生協『さくらキッチン』2階『レストラン萩』
（3,500円、事前予約必要）
以降、自由行動（仙台の夜を、存分にお楽しみください！）
- 第2日目 6月30日（日） 仙台市天文台1階『加藤・小坂ホール』
09:30 参加者からの発表
プラネタリウム観覧
JAAA 総会
12:00 昼食（弁当 500円は、事前申込みが必要。持ち込みも可）
12:45 記念写真撮影
13:15 特別招待講演その2 板垣公一氏（新天体ハンター）、遊佐徹氏（パレットおおさき）
14:45 閉会、自由解散（天文台の各施設見学は、当日に天文台受付で、観覧券をご購入ください。）

※仙台市天文台には、昼食を提供する店がありません（飲み物は自動販売機があります）。

弁当の注文をするか、ご自身で昼食の用意をお願いします（別紙『申し込みフォーム』にて受け付けます）。

【参加申し込み、問い合わせ】

JAAA2013 仙台大会（比嘉義裕） jaaa2013sendai@gmail.com

仙台天文同好会 HP <http://www7b.biglobe.ne.jp/~senten/index.html>

★以下URL（pdfファイル）で、情報を公開しています。

<http://www.ceres.dti.ne.jp/~mvland/astro/JAAA2013Sendai-final.pdf>

=====

<特別講演プログラム>

【オープニング講演】

日時：6月29日（土）13：15～

会場：東北大学片平キャンパス『さくらホール』2階会議室

演者：市川 隆（東北大学大学院理学研究科天文学専攻長）

演題：東北大学における天文普及活動

内容：当方の教室では、さまざまな天文普及活動をしています。それらに触れながら、実際に携わった出前授業活動などについて紹介します。

自身の研究活動テーマである南極天文台建設の話も交えていきます。

【特別招待講演 その1】

日時：6月29日（土）17：00～

会場：東北大学片平キャンパス『さくらホール』2階会議室

演者：縣 秀彦（国立天文台天文情報センター普及室長）

演題：天文学が切り開く未来 ー幸福への貢献を目指してー

内容：国立天文台では1998年に「天文情報センター」を設立し、天文学による科学文化を目指してきました。その活動の概要を紹介するとともに、画像処理ソフトウェア「マカリ」、4次元宇宙ビュー「Mitaka」などの4D2Uコンテンツ、一家に1枚宇宙図、君もガリレオ、国際科学映像祭、東京国際科学フェスティバルなど主要なコンテンツや活動について、その背景とねらいを紹介します。

【特別招待講演 その2】

日時：6月30日（日）13：15～

会場：仙台市天文台1階『加藤・小坂ホール』

演者：板垣 公一（新天体ハンター）、遊佐 徹（パレットおおさき）

進行：比嘉 義裕（ひが企画、仙台天文同好会）

演題：新天体発見の醍醐味

内容：超新星など新天体発見の第一人者である板垣公一氏と、確認観測を担う傍ら自身も新星を発見した遊佐徹氏による、パネルトークディスカッション。参加者より寄せられた質問事項に回答する形式で、講演を進めます。

※本講演は、一般市民にも公開します。

<一般発表プログラム>

【第1日目（東北大学片平キャンパス『さくらホール』）】

1-1 『仙台天文同好会の歴史』 渡辺 章（仙台天文同好会）

仙台天文同好会は1950年秋、吉田正太郎、青木正博、小坂由須人氏ら17人で発足しました。同好会の会報「星座」を基にして、発足からの活動、活動の場となった西公園の仙台市天文台について紹介します。

1-2 『阿武隈天文同好会の活動について』 豊川 光雄（阿武隈天文同好会・JAXA角田）

1974年10月発足、宮城県南部を中心に活動している会の紹介をします。

1-3 『ぐんま天文台ボランティアの活動紹介』 岡田 寿史（ぐんま天文台ボランティア）

1)ぐんま天文台ボランティア仲間と活動のご紹介 2)ぐんま天文台の運営をめぐる近年の動向
3)なぜ私たちは天文に心を奪われ、天文に無関心でいられないのか？ 4)天文台を様々な人々に利用いただけるようなボランティア活動とは？（ポスターあり）

1-4 『“くずはの家”の星空教室』 木村 英昭（丹沢星の会）

丹沢の麓、くずは峡谷にある自然観察施設“くずはの家”での星空教室は11年目を迎えました。丹沢星の会を中心とした有志で望遠鏡を持ち込み一般市民を対象にした観望会を開催しています。活動内容を紹介します。（ポスターあり）

1-5 『天文普及は天体観望会から ～楽しくおこなう天体観望会の事例紹介～』 田中 千秋（こども星見隊・関東天文協会・鴨川市に天文台をつくろう会）

天文普及の原点ともいえる天体観望会は、私たち天文愛好者の活動でも大きな位置づけがなされていますが、これを体系化したりノウハウの蓄積を行い、天文愛好家間で情報交換することによって、より楽しく、やりがいにつながる観望会活動にしていきたいと考えています。

1-6 『こども達に伝えよう！天文のおもしろさ』 茶木 恵子（こども達に星を観せる会・豊中天文同好会・理カフェ・他）

「こども達に星を観せる会」の活動報告や天星教？（笑）布教の歩み??の紹介（ポスターあり）

1-7 『東北地方の星の和名伝承をたずねて』 北尾 浩一（東亜天文学会・中之島科学研究所）

津軽半島、下北半島、男鹿半島、唐桑半島と星の和名伝承を訪ねて歩いた。特に、イカ釣りの役星として、星を活用している事例に出会った。本報告では各地域での和名伝承の多様性と特徴について考えていく。

1-8 『2012年ニュージーランド皆既日食洋上での観測報告』 飯塚 礼子（日食情報センター）

2012年11月の皆既日食を洋上で成功させるために取ってきた経路、観測内容、一緒に体験した方々の様子。洋上や機上での日食観測について報告いたします。

1-9 『流星痕を観測しよう！』 戸田 雅之、比嘉 義裕（日本流星研究会・流星痕同時観測チーム）

流星痕は、明るい流星の経路に出現する、非常に淡い発光雲です。フィルムカメラ時代は、感度不足により、その出現過程や詳細な構造などを記録することが困難でした。しかしデジタルカメラ時代に突入した現在、廉価なカメラセットでも、超高感度かつ短時間露出での撮影が可能になりました。さらに記録媒体も充実し、パソコンにより簡単に画像が処理できるようになり、誰もが流星痕を撮影、加工できるようになりました。本発表では、流星痕の画像を提示しながら、その観測方法を提示します。（ポスターあり）

1-10 『2013年1月の望遠鏡流星観測結果から』 殿村 泰弘（仙台天文同好会・日本流星研究会・東亜天文学会）

流星の望遠鏡観測者によると、しぶんぎ群後の中旬から下旬にかけて異常な微光流星の出現を捉えていますので、そのことについて紹介します。

1-1-1 『LIMEの動向』 藤由 嘉昭 (JAAA・東亜天文学会)

NASAのLADEEプロジェクトに関連して月面衝突閃光をアマチュアで捉えるためできるだけ多くの方に参加してもらおうための広報です。

1-1-2 『伝統的七タライトダウン2013キャンペーンのご紹介』 檜木 梨花子 (JAAA・伝統的七タライトダウン推進委員会)

8月12、13日は「伝統的七タライトダウン2013キャンペーン」です。照明を消灯して夜空を想う、ペルセウス座流星群にあわせて星空を見上げる、適切な照明器具の提案や施設でのイベント等への協力依頼と紹介を行います。

【第2日目(仙台市天文台)】

2-1 『88232羽の折鶴が宇宙を目指す』 薄 謙一 (会津天文同好会・会津そらの会)

会津そらの会で取り組んでいる88232羽の折鶴製作は、小惑星探査機「はやぶさ2」が無事に宇宙に向けて出発できることを願い始まりました。今回はこれまでの取り組みの概要を紹介します。

2-2 『2012金環日食に関する実践』 齋藤 弘一郎 (宮城県古川黎明中学校・高等学校)

2012年の金環日食観察へ向けた学校単位での取り組み、地域との連携について

2-3 『ぎょしゃ座新星候補天体の観測』 鈴木 湧平 (宮城県古川黎明中学校3年)

12等の新星候補天体の精密位置観測および多色測光観測をおこなった。色指数B-Vは0.1となり、青色で輝いていることがわかった。(ポスターあり)

2-4 『大彗星年! アイソン彗星でつながろう』 大西 浩次 (JAAA・アイソン彗星キャンペーン実行委員会)

今年はパンスターズ彗星、レモン彗星がやってきました。でも本命はアイソン彗星(アイちゃん)です。みんなで観察を楽しみ、多くの人々と繋がってみませんか?いまから準備を始めましょう。

2-5 『2013年オーストラリア金環日食報告』 大西 浩次 (JAAA・長野工業高等専門学校)

昨年、金環日食を使って太陽の大きさを正確に求める計画が立ち上がり、全国で観測が行われました。この解析手法を確立するため、2013年5月10日オーストラリア金環日食観測隊(テナントクリーク金環日食、BEADS2013)に参加しました。今回は、その部分食(北限界線)の観測を報告します。

【ポスター発表のみ】

3-1 『保険に加入して安全安心に“天文普及活動”をしよう』 比嘉 義裕 (ひが企画・仙台天文同好会)

天文普及活動を、より安心安全におこなうための対策の一つは、保険に入ることである。ここでは、我々加入者を守ってくれる社会福祉協議会(社協)の“ボランティア保険”と、行事参加者全員を対象とした“行事保険”の2つを紹介する。

3-2 『JAXA角田について』 豊川 光雄 (JAXA角田・阿武隈天文同好会)

宇宙航空研究開発機構(JAXA)角田宇宙センターの研究・開発について紹介します。

3-3 『LIMEプロジェクトのPRについて』 友田 哲 (JAAA・天文生活・つくば星の会)

NASAが打ち上げる月大気探査機LADEEとともに地球上から月の観察を行うLIMEプロジェクトのPRについての楽しみながらの一提案。

3-4 『「NPO法人ネイチャークラブにいはいり」の活動紹介』 黒澤 順一 (NPO法人ネイチャークラブにいはいり・こども星見隊)

「NPO法人ネイチャークラブにいはいり」の活動を紹介します。

大会実行委員からのお知らせ

【申し込みについて】

- ☆締切：**発表申し込みは締め切りしました。**一般参加はお問い合わせください（6月25日現在）。
- ☆『参加申し込みフォーム』（後述）より、比嘉（jaaa2013sendai@gmail.com）までお申し込みください。申し込み後の変更・キャンセルは、比嘉までご連絡ください。
- ☆懇親会の申し込み後のキャンセルのみ、2013年6月14日（金）12時00分（同）までとします。~~以降のキャンセルは、実費全額3,500円をお支払いいただきますので、ご留意ください。~~

【各費用について】

- ☆大会会場で、現金でお支払いいただきます。領収書を発行いたします。手続き簡略のため、事前の申し込み名称にて作成します。宛名の指定は、『参加申し込みフォーム』にてお願いします。

【発表等について】

- ☆大会両日とも、液晶プロジェクターの使用が可能です。パソコンは、原則持参ください（要相談）。
- ☆第1日目のみ、無線LANが用意できます（当日、セキュリティコードを発行します）。

【宿泊について】

- ☆参加者ご自身にて、手配をお願いします。インターネット予約等にて、割安にホテル確保が可能です。
- ☆東日本大震災による震災復興支援等により、仙台市内ホテルは慢性的に混雑しているようです。お早目の問い合わせを、お勧めいたします。

【自家用車の駐車場について】

- ☆第1日目の東北大学片平キャンパスは、駐車スペースがありません。近隣駐車場をご利用ください。第2日目の仙台市天文台には、十分な駐車スペースがあります。

【第1日目（会場：東北大学）の、禁煙終始徹底と、飲食について】

- ☆東北大学キャンパス内と、その周辺（路上を含む）は、完全禁煙です。喫煙スペースもありません。さらに、懇親会会場である生協『さくらキッチン』も完全禁煙です。ご了承ください。
- ☆東北大学『さくらホール』会議場内は、飲食禁止です。ホールにて飲食をお願いいたします。

【第2日目（会場：仙台市天文台）の移動手段について】

- ☆JR経由でバスの場合：JR仙山（せんざん）線、仙台駅または北仙台駅（地下鉄経由）より、愛子（あやし）駅下車。愛子観光バス「錦ヶ丘八丁目」行き約10分、「錦ヶ丘七丁目北・天文台入口」下車、徒歩3分。

<u>仙台</u>	→	<u>北仙台</u>	→	<u>愛子</u>		<u>愛子駅前</u>	→	<u>錦ヶ丘七丁目北・天文台入口</u>
07:22	→	07:30	→	07:53				
07:39	→	07:46	→	08:11		08:13	→	08:23
07:58	→	08:06	→	08:27				
08:15快速	→	08:22	→	08:43				
08:32	→	08:39	→	08:59		09:03	→	09:13

- ☆バスをご利用の場合：さくら野百貨店西向いリッチモンドホテルプレミア前停留所「仙台駅前」より愛子観光バス「錦ヶ丘八丁目」行き約30分、「錦ヶ丘七丁目北・天文台入口」下車、徒歩3分。
※リッチモンドホテルプレミア周辺にはバス停がいくつかあります。かならずさくら野百貨店向かいのバス停を、御利用ください。行先を必ずご確認ください。

<u>仙台駅前</u>	→	(<u>愛子駅前</u>)	→	<u>錦ヶ丘七丁目北・天文台入口</u>
07:50	→	(08:13)	→	08:23
08:40	→	(09:03)	→	09:13

- ☆車をご利用の場合：仙台駅前から約30分、または東北自動車道仙台宮城ICから国道48号線経由で約10分。

【昼食について】

- ☆弁当（500円）の注文を受け付けます。『参加申し込みフォーム』よりご注文ください（後述）。
昼食は持参されても結構です。

※天文台では、自動販売機の軽食がありますが、数も限られていますので、事前の用意をお勧めします。
徒歩約8分（バス停のそば）に、コンビニがあります。飲み物は、自動販売機で買えます。

【解散後について】

☆愛子観光バス（愛子駅前経由、仙台駅行き）をご利用ください。便数が少ないのでご注意ください！
「錦ヶ丘七丁目北・天文台入口」15：25、16：20、17：20、18：15に出発
☆天文台の施設見学は、当日に天文台受付にて、申し込んでください（事前調査は各自にて！）。
当日のイベントは、天文台URL（<http://www.sendai-astro.jp/>）を参照ください。

別紙『参加申し込みフォーム』

以下をコピーし、必要事項を記入して、実行委員開催地代表の比嘉（jaaa2013sendai@gmail.com）へ、添付ファイルではなく、通常のメールとしてお送りください。カッコは消してください！
申し込み締切：一般参加のみ、受付いたします。

—————（ここから）—————

「天文愛好者ミーティング 2013 年度全国会議および総会 参加申し込みフォーム」

【氏名・性別】<必須！> 氏（ ）名（ ） 男/女（どちらかを消す）

【領収書の宛名】<必要に応じて必須！指定なければ氏名で発行します。>（ ）

【連絡先メールアドレス】<必須！できればPCを！>（ ）@（ ）

【電話番号】（任意）（ ）－（ ）－（ ）

【所属（学生はサークル名、学校学年など）】<必須！>（ ）

【活動地域、または現住所】<必須！>（ ）

【懇親会参加の有無】<必須！> 参加する / 参加しない（どちらかを消す）
※6月13日12時以降のキャンセルは、申し受けできません。

【昼食（弁当：500円）】<必須！> 注文する / 注文しない（どちらかを消す）

~~【発表について】<必須！> あり / なし（どちらかを消す）~~

~~【発表内容について】<“発表あり”の方のみ、ご記入ください>~~

~~題名：（ ）~~

~~演者名・所属：（ ）~~

~~要約：（100字程度でお願いします）~~

~~形態：口頭のみ / 口頭＋ポスター / ポスター（不要な項目を消す）~~

~~※プロジェクターの使用が可能です。無線LANは第1日目のみ使用できます。~~

~~【アンケート】<できれば必須！>~~

~~特別招待講演『新天体発見の醍醐味（仮）』について、また、板垣公一氏、遊佐徹氏についての
質問・疑問などをお書きください（どのようなものでも結構です！）。
あるいは、この会議や、JAAA Aの意見などありましたら、お願いします。~~

~~（ ）~~

~~（ ）~~

~~（ ）~~

~~講演時に、氏名を読んでも構わない / 匿名にする（どちらかを消す）~~

—————（ここまで）—————

特別招待講演

『新天体発見の醍醐味』

2013年6月30日(日) 13:15~14:30

仙台市天文台1階 加藤・小坂ホール

【演者】板垣公一(新天体ハンター)、遊佐徹(パレットおおさき) ※進行 比嘉義裕(ひが企画)

【内容】超新星など新天体発見の第一人者である板垣公一氏と、確認観測を担う傍ら自身も新星を発見している遊佐徹氏による、パネルディスカッションです。

会場のみなさまからの質問事項に回答する形式で、講演を進めていきます。

【主催】日本天文愛好連絡会(JAAA)

【共催】仙台天文同好会、仙台市天文台

【会費】無料 どなたでも入場できます。当日、会場にお越しください。

板垣 公一(いたがき こういち)氏

山形県山形市在住。世界にその名を轟かす“新天体ハンター”。これまで超新星82個、彗星2個、その他に新星などを複数発見しており、まさに圧倒的だ(2013年6月12日現在)。

その突出した業績に対し、山形大学名誉博士第1号(2007年)、日本天文学会天文功労賞(2008年)、エドガー・ウィルソン賞(2009年)などが授与されている。

本職は『豆の板垣』代表取締役。豆菓子のminiパックを、国内業界で最初に取り入れたのは板垣氏の発案である。

※エドガー・ウィルソン賞：アマチュア彗星発見者に贈られる国際的な賞



遊佐 徹(ゆさ とおる)氏

宮城県大崎市在住。新星・超新星、新彗星など新天体確認観測のエキスパート。確認観測のかたわら、自らもM33やM31など系外銀河の新星を発見。確認観測には、大崎市古川の大崎生涯学習センター(パレットおおさき)の30cmカセグレン式望遠鏡のほか、海外のリモート望遠鏡も駆使している。

本職は大崎生涯学習センタープラネタリウム・天文事業の統括担当、社会教育主事。地域の天文ボランティアと共に小中学校や公民館などに出向き、移動観測会や天文講話を精力的に行うなど、天文普及に尽力している。

自称『駄洒落マエストロ』。本講演でも飛び出すか？

